



世界から東京・日比谷に労働者が集まり戦争と民営化に絶対反対を誓った(15年11月)



イラク・バスラの南部石油会社本社前で抗議行動を行う石油労働者(13年4月)

# 国際連帯で戦争とめよう! シリア空爆ただちにやめろ!



有志連合の空爆にさらされるコバニ(14年10月)



「イスラム国」掃討作戦の「有志連合」として戦争遂行するオバマ(米)、オランド(仏)、安倍

◆11・13パリ銃撃・爆破事件の元凶は何か  
今回の事件の元凶は各国によるシリア空爆にある。  
「有志連合」による空爆によって昨年9月以来少なくとも3414人(15年8月時点。シリア人権監視団)もの人々の命が奪われている(さらにロシアなどの空爆もある)。  
シリア人口2200万人の半分を超える人々が難民・国内避難民となっている(裏面参照)が、これはシリア戦争に参加する各国が利己的な思惑に基づいて軍事作戦を遂行する中で、国土と住民の生活が破壊されつくしたことによって引き起こされたものだ。殺戮と混乱が広がれば広がるほど、各国の一握りの軍事産業・独占資本の利潤が拡大する本当に不正義の戦争だ。  
とりわけフランスは「対IS」を語った不正義の中東侵略戦争の先頭に立っていた。11・13事件直前の5日には原子力空母シャルル・ドゴールを中東に派遣することを決定。実は1月7日シャルリー・エブド襲撃事件の前日にもシャルル・ドゴールのペルシャ湾への派遣が決定されていた。  
そもそも「イスラム国」の存在を生み出したものこそ、米英仏をはじめとする帝国主義の侵略戦争と苛烈な中東支配だ。そして各国内における移民やムスリムに対する抑圧がイスラム原理主義の伸長を促した。

戦争の拡大や各国への難民流入阻止・抑圧強化は民族・宗派対立をさらに激化させるだけだ。各国はいますぐシリア空爆をやめろ!

◆中東労働者との国際連帯を  
シリアをはじめとする中東の人々の怒りの爆発と抵抗闘争の拡大は全く当然だ。しかし「イスラム国」に代表されるイスラム原理主義思想に未来はない。

この中でイラクを中心に労働組合が軸となって、帝国主義の中東支配、「イスラム国」の抑圧を打ち破る闘いが開始されている(裏面参照)。

どの国の政府や資本家も利潤を拡大し、労働者の反乱を防ぐため、民族・宗教対立を利用する。いざ戦争となれば労働者が真っ先に戦場に送られる。だから国境や民族を超えて労働者が団結すれば、戦争や民族・宗教対立もなくすることができる。

11月1日全世界から労働者が集まり開催された「全国労働者総決起集会」にはその萌芽が詰まっている。

安倍政権も来年の戦争法施行を前に中東への影響力拡大を開始している。日本の闘いが世界の反戦運動の帰趨を握っている。

## 裏面 シリア戦争の実態と中東労働者の闘いの息吹

# 全学連

全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)  
03-3651-4861 mail\_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/

# これがシリア戦争の実態だ!

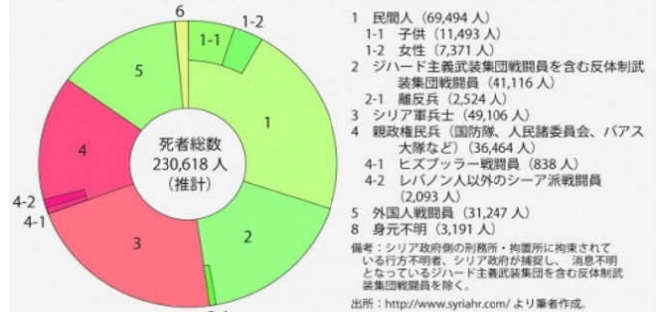


難民となった子どもたち(写真右)



欧州にたどり着いたシリア人  
34万人  
国外に逃れた人  
(難民)  
408万9千人  
国内で避難している人  
(国内避難民)  
760万人  
シリアの人口(2,240万人)  
半数超が避難民に

紛争による死者数内訳 (2011年3月18日～2015年5月8日)



仏パリ銃撃事件直前の11月5日に中東派遣が決定された原子力空母シャルル・ドゴール(写真上)

銃撃事件後すぐさま再開された空爆(写真下)

シリア内戦開始後の死者数(右上)とシリアにおける難民数(左上)

「難民支援」を語った戦争加担(写真下)



## 侵略戦争とIS支配打ち破る中東労働者の闘いの息吹

### ◆11・1全国労働者集会におけるトルコ国際労働者協会・ジェミル・カラジュさん発言

何千キロも離れたところから来ました。われわれの声をみなさんの声と重ねるために、みなさんとスクラムを組むために、そして労働者階級の国際的な団結を強化するために!

2、3週間前、トルコでの平和集会に野蛮な攻撃が加えられました。100人を超えるわれわれの兄弟姉妹が命を奪われ、数百人がけがを負いました。この虐殺は、AKP政府の攻撃的政策の結果、引き起こされたものです。彼らは権力の座に居座り、中東での帝国主義政策を続けるためにこのような事件を起こしたのです。

われわれは深い悲しみに沈み、また激怒している! この虐殺を忘れないし、忘れさせてはいけません。われわれは組織し団結し彼らに対して立ち上がる。そのことでこの事件の責任者に罪を償わせる。

集まって声をひとつにし、心をひとつにし、こぶしをひとつにして資本家階級、資本主義体制に対して立ち上がりましょう。そして彼らにこう叫びましょう。「お前らはノーだ、お前らの腐った制度もノーだ、お前らの戦争もノーだ、お前らの経済危機もノーだ、原発も核兵器もノーだ」と。われわれに必要なのはわれわれ自身の力を信じ、次なる闘いのステージに前進することです。

### ◆イラクの戦火の中で不屈に闘うイラク労働者評議会による14年6月16日付声明(抜粋)

イラクの労働者階級は北はクルディスタンから南部のはずれまで全国に存在する勢力である。この労働者階級の存在と存続は、差別の解消とイラク人民の団結にかかっている。この勢力だけがイラクの細分と分断を終わらせることができる。  
... ..

われわれは、アメリカの介入を拒否し、またイランの厚かましい介入を断固として拒否する。...われわれはとりわけサウジアラビアやカタールなどの湾岸諸国の介入や武装集団への資金供与に反対する。  
... ..

われわれはヌーリ・マリキの宗派的で反動的な政策を拒否する。...われわれはまた武装したテロリストのギャングや民兵によるモスルやその他の都市の支配を拒否する。われわれは差別や宗派主義に反対するこれらの都市の人民の要求に同意し、それを支持する。  
... ..

最後に、われわれは宗教機関の介入とその無差別的戦争行為の呼びかけを拒否する。

## ”今こそ星野文昭さんを取り戻そう” 11・29全国集会

11月29日(日)13:00～ 永田町・星陵会館(集会後銀座デモ)

主催: 星野文昭さんを取り戻そう! 全国再審連絡会議